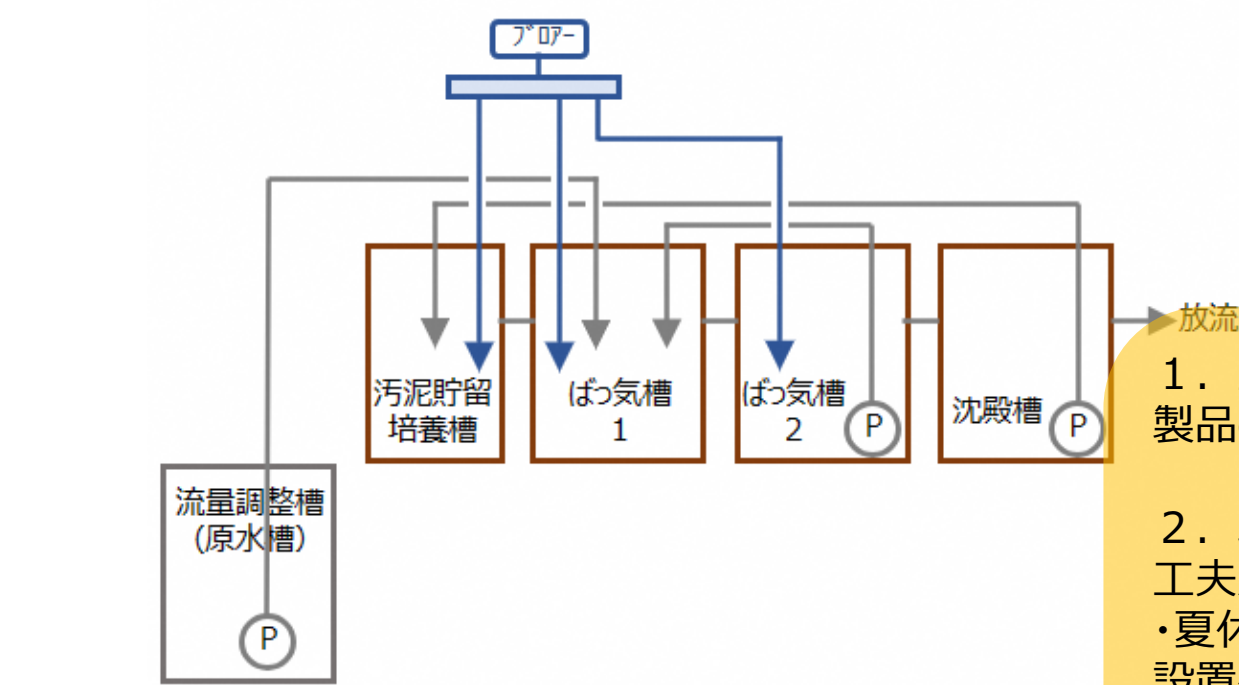


1. 期初改修

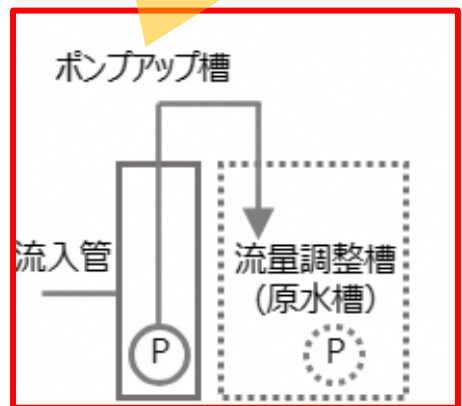
機械-4 厨房除害設備の機能改善工事

- 本工事は厨房除害設備において、原水槽への排水の流入が自然流下のみで躯体水槽の全容量を使用できていない。かつ流量調整槽が無い為、運用に苦勞する場合がある。これを改善する為に排水流入管をポンプアップし原水槽容量を効率的に使用し、流量調整する機能を追加するものである。

- 厨房除害設備室前に排水枳（＝新設枳＝ポンプアップ槽）を設置し、ここに水中ポンプを設け原水槽へ配管する。ポンプ容量は直近動力盤の電源空き容量、配管径などを考慮し決定すること。
- 機能改善と併せて現状のポンプ、ファンなどの機器も更新すること。



新設枳＝ポンプアップ槽

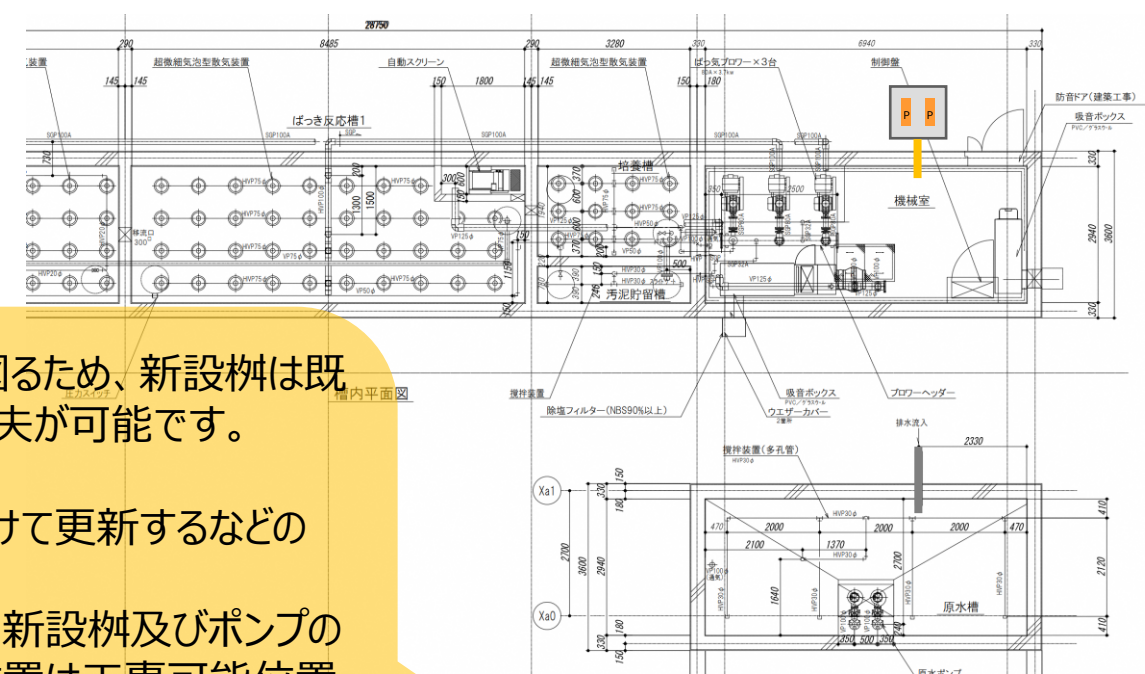


ポンプアップ槽の設置

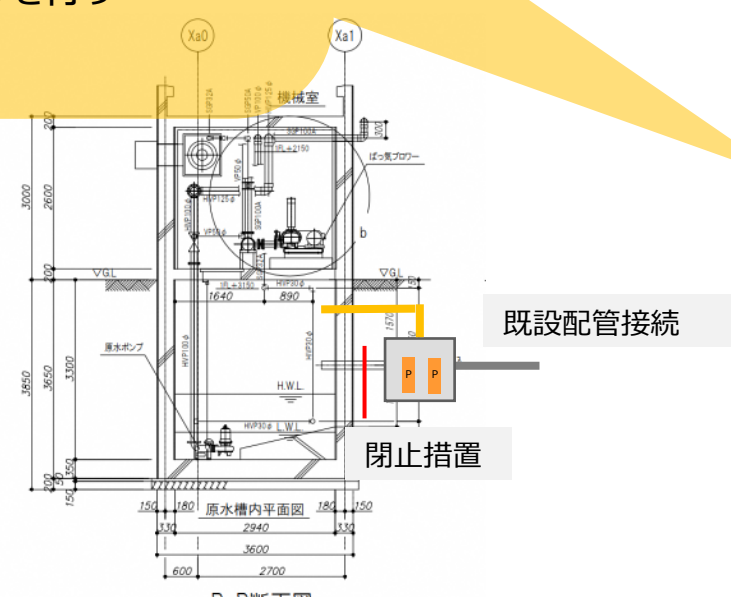


厨房除害設備

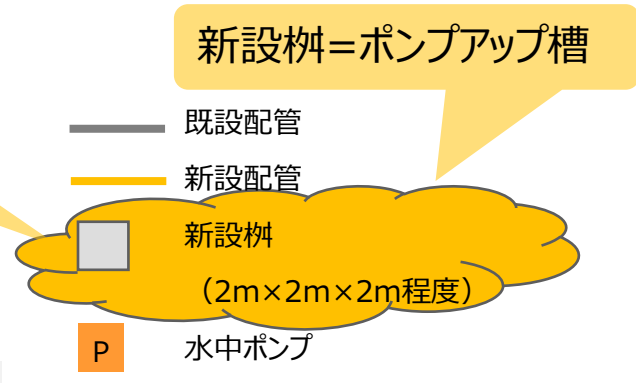
1. 工期の短縮を図るため、新設枳は既製品の採用などの工夫が可能です。
2. 以下のように分けて更新するなどの工夫が可能です。
- ・夏休み期間以外：新設枳及びポンプの設置を行う（設置位置は工事可能位置の中で適宜検討して構いません）
 - ・夏休み期間：繋ぎ込みを行う



GL及びGL以下水槽レベル平面図



原水槽廻り断面図



2. 期初修繕・更新

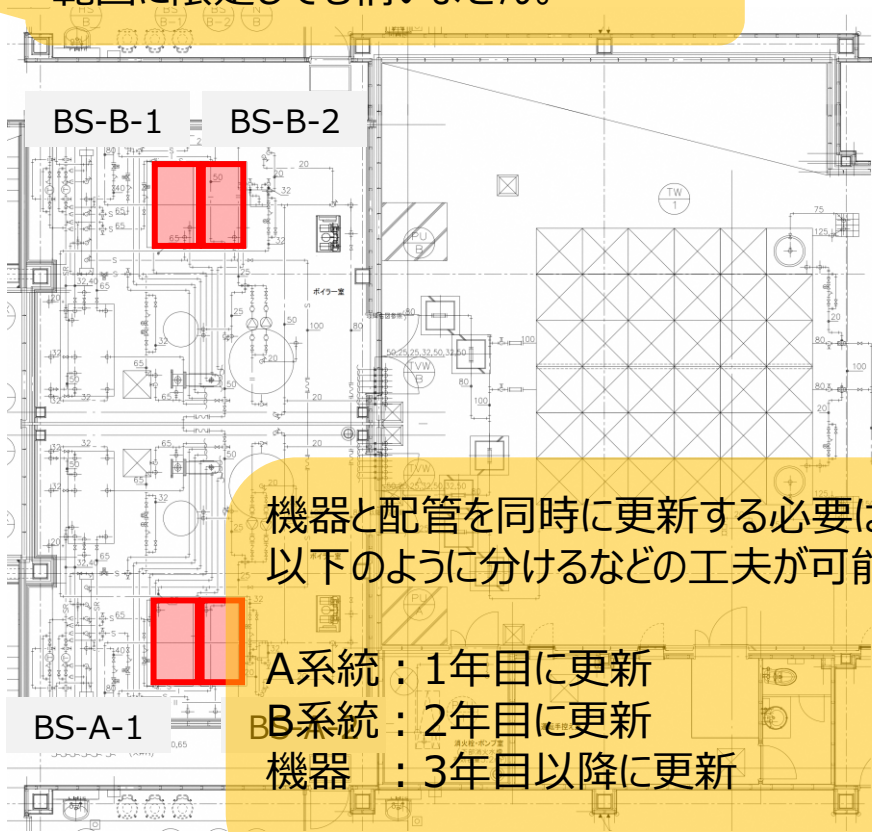
機械-6,7 ボイラー及びボイラー廻り蒸気配管更新

- 本工事は標準更新周期を経過に伴いボイラーの更新を行うものである。また、ボイラー廻りの蒸気配管も腐食の可能性が認められている為、更新すること。
- 配管の仕様は現仕様相当とするが、機能上問題がなければ変更してもよい。

記号	名称	仕様
BS-A-1,2 BS-B-1,2	蒸気ボイラー	小型貫流ボイラー(連結型) 低No x 対応型
		蒸発量 換算1,500kg/h 実際 1,267kg/h (蒸気圧0.49MPa,給水温度20℃時)
		定格出力 940kW
		最高使用圧力0.98MPa (常用圧力0.59MPa)
		伝熱面積 9.8㎡
		ガス消費量90.7m3N/h (13A相当)
		耐震1.0G
	ボイラー台数 制御盤	台数制御装置 (ボイラー4台用)
		付属品 圧力センサー、サイホン管、コック、架台850H、他標準付属品

表. ボイラースペック表

全て更新する必要はなく、必要と考える範囲に限定しても構いません。



機器と配管を同時に更新する必要はなく、以下のように分けるなどの工夫が可能です。表. 現ボイラー状況

A系統：1年目に更新
B系統：2年目に更新
機器：3年目以降に更新



表. ボイラー配置図

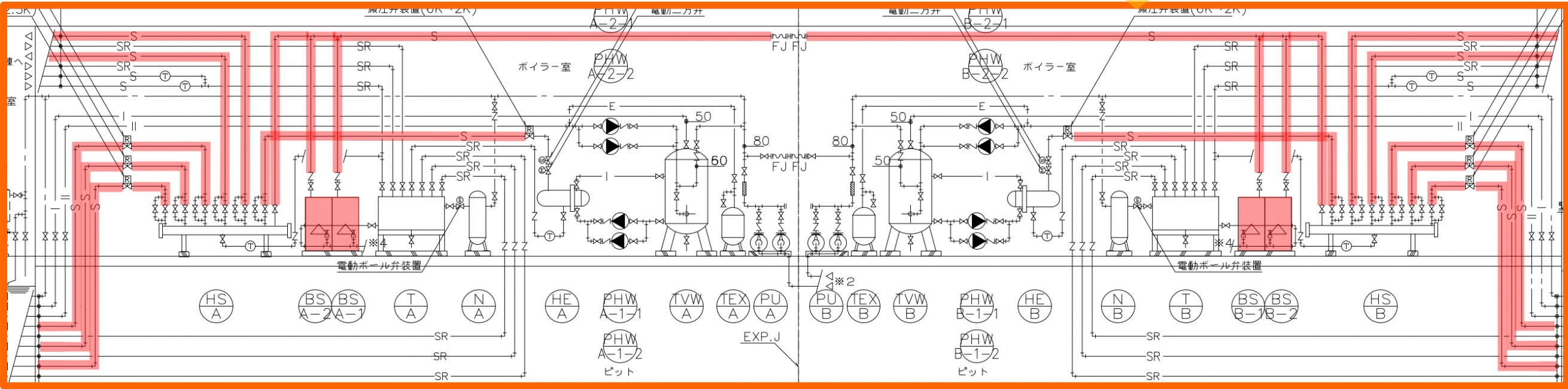


図. 蒸気配管更新範囲図

2. 期初修繕・更新

機械-13 水槽（FRP製）更新

- 本工事は標準更新周期を経過に伴い水槽（FRP製）の更新を行うものである。

記号	名称	仕様
TW-1	受水槽	FRP製複合板組立形（2層式） 水槽容量 84m ³ （有効） 外形寸法 6,000×（3,000+3,000）×3,000H 中仕切 6,000×3,000H 耐震 1.5G 付属品 感震器遮断型緊急遮断弁100×2 感震器内蔵制御盤×1 平架台、通気口、マンホール施錠付 他標準付属品、アンカーボルト（ドブ漬）

表. 水槽（FRP製）スペック表



図. 受水槽

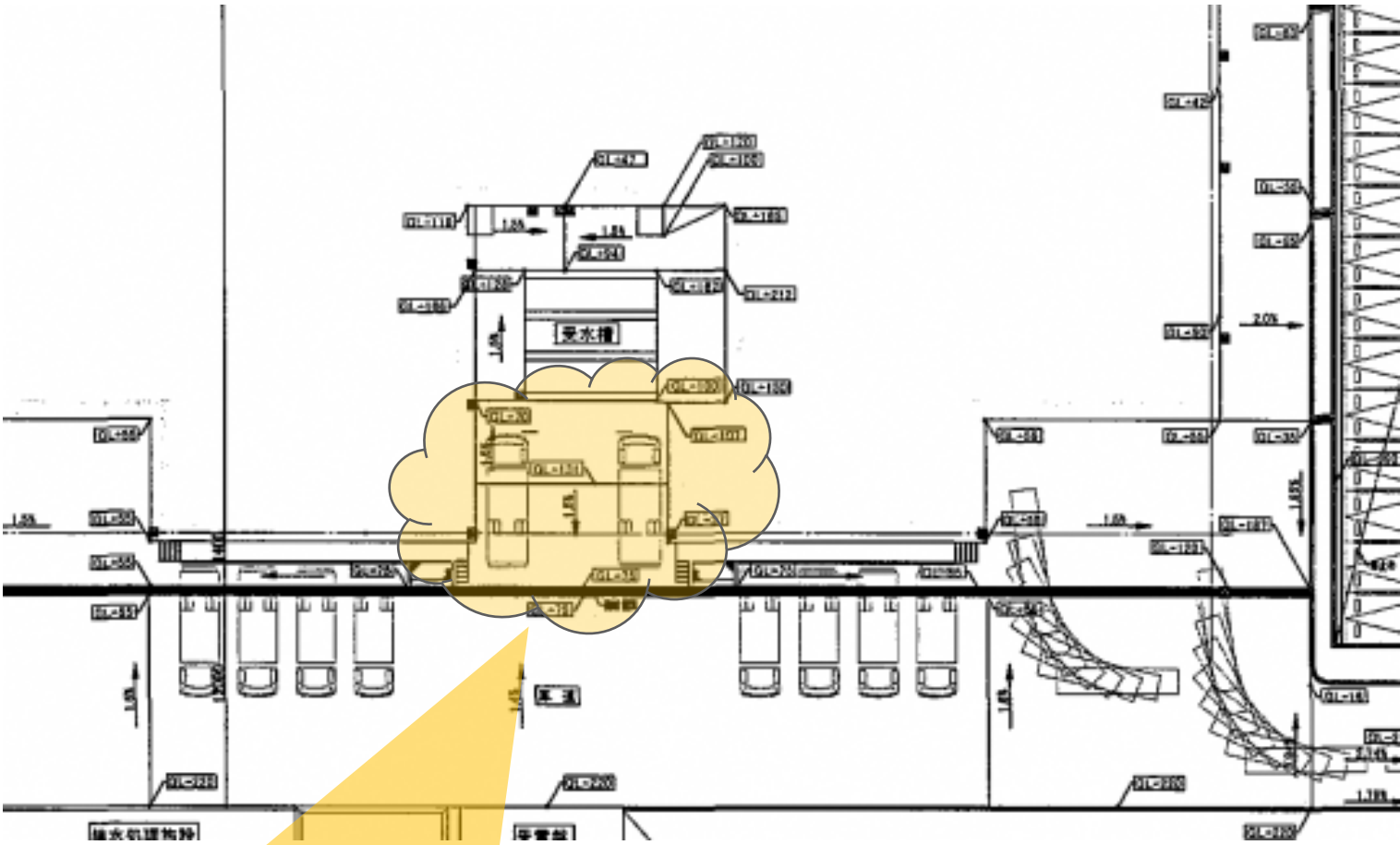


図. 第一・第二調理場配置図の抜粋

受水槽の組立から繋ぎ込みまで同時に更新する必要はなく、以下のように分けるなどの工夫が可能です。

- ・運用中：雲マーク部分に新しい受水槽を組立てる
- ・運用停止時（夏休み、冬休み等）：繋ぎ込みを行う